

# ひしもにた 議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



統合して、初めての下仁田小学校大運動会



来年度新入学園児の徒競走

## あなたと議会を結ぶ

## 確かな情報と信頼

### 主な 内容

9月定例会	2
一般質問	3~4
予算決算特別委員会	5
広域圏NEWS	6
視察報告	7
町の話	8

# 9月定例会

## 報告

◆議員派遣の件について

◆平成23年度決算に基づく健全化判断比率について

◆平成23年度決算に基づく公営企業資金不足比率について

◆有限会社産業開発しもにた経営状況の報告について

## 議案

◆下仁田町等公平委員会委員の選任について

全会一致で同意

飯嶋常男氏（小坂）の選任に同意しました。

◆教育委員会委員の任命について

全会一致で同意

土屋長一郎氏（馬山）の再任に同意しました。

吉井誠氏（甘楽町）の任命に同意しました。

第3回定例会は、9月6日から20日まで開催され、平成23年度の一般会計と特別会計の決算認定をはじめ平成24年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、報告4件、議案24件が上程され、原案どおり承認、可決されました。

下仁田町立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
下仁田町社会体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
下仁田町グラウンド等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致で可決
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	全会一致で可決
平成24年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成24年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第1号）	全会一致で可決
平成23年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数で認定
平成23年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	全会一致で認定
平成23年度下仁田町ガス事業会計決算認定について	全会一致で認定
公開質問状に関する調査特別委員会設置に関する決議	賛成多数で可決

# 一般質問

## 町政を問う

木暮 弘元議員



### Q 教育委員の選考選出過程の見直しについて

議員 町では委員選考規程があるか。

町長 規定はないが、委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔、教育、学術、文化に関して識見を有し、年齢、性別、職業に著しい隔たりが生じぬよう配慮し、議会の同意を得て選考し任命している。

議員 慣例等はあるのか。

教育長 5名の規定があり5地区数との一致から慣例により町長が選考し議会の同意の上任命される。

概ね1地区1名の選任でありいつからなのかはつきりしていない。

議員 各地区1名選任というが、町外者推薦が続き旧下仁田地区からは不選出である。この地区のみが異例な取り扱いとれるが、下仁田地区にも人材はいると思うが。

町長 選任の件は人事案件につき本会議で提案、審議された。

議員 今回の選考での相談者は、提案理由は。

町長 教育委員経験者、教育長等々と相談、選任した。

議員 行政に携わる人事選考について、過去にさかのぼるが以前副町長選任時に町外者を理由に反対があったと聞いた。適任であれば反対理由にはならないが、今回の教育委員選考とは違う、またこの地区に町外者を充てるのは意図的だったのか。

住民には理解しがたく5地区不平等が今後も続く懸念される。

今回2名改選、小中学校各一校になった。委員の地区別選考を廃止し、選出過程を改革し検討する時期と思うが、いかがか。

町長 教育に携わり教育行政に精通している人を重要視すれば地域のことわりは検討に値すると思う

が、各議員に考えていただければよろしいかなと思う。

### Q 教育行政について

教育委員会の全協議内容を会議録に残すべきでは。

議員 毎月委員会会議録を求めたが、議会での質問を討議した気配がない。

改善項目の回答をされたい。

教育長 教育委員会審議の重要事項や基本的方針等に係る内容は会議録に記載し日々の教育行政は教育長が責任者で具体的事務を執行処理をしている。

質問の経過、結果等の具体的な対処は課長から答える。

### Q 3月、6月の一般質問で指摘のあった事項の対処について

教育課長 柔道授業の安全性確保については、本年度中1生は10時間の授業実施予定、30着柔道着が保管されている。着用しての授業は半分程度で体育着の上に柔道着を着る。年度終了後クリーニングし衛生状態を保つ予定である。

授業は十分な安全対策を配慮し、事故がないよう指導に努める。通学路危険箇所調査は整理調査

中、安全マップは作成中で、スクールバスについては特別問題ないと認識している。

小学校統合後の環境変化については児童、保護者アンケートを実施し早期の対応を目指し努力している。

議員 このような説明や報告を協議の中で会議録に残し、把握できるようにしていただきたい。

### Q いじめ問題について

議員 町では問題視された事があるか。

教育課長 昨年度は報告ない。本年該当事案が一件、現在平静化している。

今後とも地域住民の意向を反映し、相互信頼できる教育委員会であるように願いたい。

議員 発覚時には外部委員会設置はあるか。

教育長 不幸にして発生した時は事例ごとに設置を検討する。

議員 安心して相談できる学校、委員会であって欲しい。

### Q 不登校児、生徒の実態は

教育課長 昨年度年間30日以上欠席者は4件あったが、本年度はない。

教職員指導体制の充実、家庭、地域社会の連携、スクールカウンセラーによる教育相談等円滑に進める努力をし、保護者への周知徹底を図りたい。

議員 今後とも地域住民の意向を反映し、相互信頼できる教育委員会であるように願いたい。



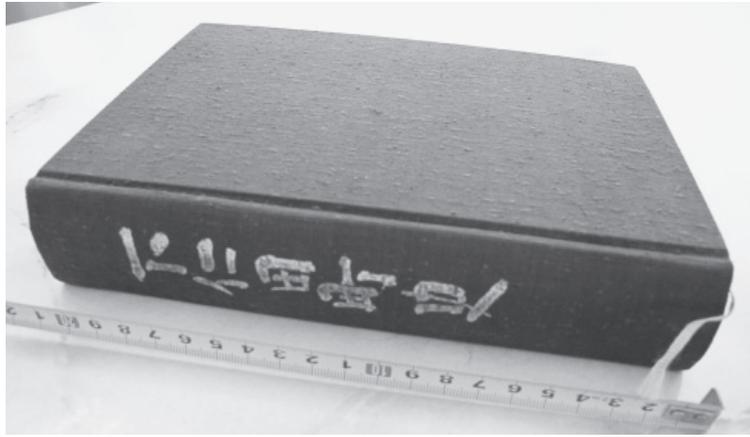
教育委員会の建物



Q 町史の編さんの必要性は

A 必要性はあると認識

**議員** 最新の発行時期は。  
**教育課長** 存在の町史は昭和46年11月3日に発行。既に41年が経過している。  
**議員** 平成20年度に予算計上した。その後の経過について伺いたい。  
**教育課長** 平成20年度予算に181万円を計上、21年度にも383万円を計上したが補正でゼロとし、その後は予算化していない。  
**議員** 当時の中止の理由は。  
**教育長** 専門的な知識経験を要する刊行委員、編さん委員の選任に問題があった。



昭和46年発行の下仁田町史

**議員** 20年度は岡田町政21年度は金井町政、町史の編さんの必要性があると考えているのか。  
**教育長** 後世に伝える必要性はあると認識しています。  
**議員** 2年にわたって予算化したものができなかった。教育長の職務ではないか。  
**教育長** 世界遺産の関係が目の前に迫りそちらに集中せざるを得なかった。  
**議員** 2年にわたり予算化しただけでできなかったことは職務怠慢と言わざるを得ない。教育長には2度目です。

Q 荒船の湯の民間委託の検討は

A 結論に至っていない

**議員** 荒船の湯の経営状況は。  
**産業振興課長** 平成9年に開業して利用実績は、左記のとおりです。

荒船の湯利用実績

平成年度	入館者数	収入	支出	差(赤字)
10	95,000人	11,557万円	11,327万円	+ 227万円
15	80,000人	7,773万円	8,700万円	- 926万円
20	67,000人	6,153万円	7,538万円	- 1,384万円
23	54,000人	4,755万円	6,821万円	- 2,000万円

**議員** 大変な状況だ。金井町政の4年の間に荒船の湯の民営化への検討をしたか。  
**産業振興課長** 第4次下仁田町行財政改革大綱の中に盛り込みましたが、具体的な結論に至っておりません。  
**議員** なぜ結論が出せない。  
**町長** 一口に言いますがマイナス要因がこれだけありますと、お引き受けくださる方が難しい状況です。  
**議員** 職員の教育はどのようなシステムで行うのか。  
**産業振興課長** 職員間のトラブルや苦情等を耳します。その都度、出向いたときに口頭で注意、文書でもって苦情等を当事者にわかるように簡条書きにして配付し改善を促します。  
**議員** 接客態度、マナーの指導等は誰が行うのか、研修や視察等は行っておるか。  
**産業振興課長** 職場改善に全員で取り組んでいる、専門家等による研修会は、自主的な改善に期待したい。  
**議員** 8月21日の新聞に「大変に遺憾、厳正に対処したいと話している」と町長コメントが掲載された。  
**町長** 突然の新聞報道でございまして、どういった内容であるかわからないで話を聞きました。非



荒船の湯受付

常に残念に思った次第です。  
**議員** 過去において、職員の事件、事故等については管理者はみずから責めを負う事例は幾つもあった。管理者責任は感じるか否か。  
**町長** まことに残念であり厳粛に受けとめております。責任を感じております。  
**議員** 言葉のみならず形にしていた、いただきたい。  
**町長** 答弁は重複のため省略  
**議員** 管理者が自らの給与を数カ月カットした事例がある。  
 今回はどうされますかの質問です。検討願いたい。  
**町長** (答弁なし)

## 予算決算特別委員会

### 付託議案を全委員で審査

予算決算特別委員会は、9月11日及び9月12日午前10時から開催され、任期満了により、委員長に佐藤博委員、副委員長に堀口博志委員が選出されたのち、直ちに、本会議において付託された議案16件について審査いたしました。主な質疑は、次のとおりです。

### 24年度補正予算関係

**Q** 保育所運営（委託）の内容は  
**A** 青倉保育園の外壁の老朽化（ひび割れや節の欠落等）による、雨水の浸入等が有り東西南北計565㎡の大規模修繕です。  
**Q** 部分的なものか全体的なものか  
**A** 全体的に収縮が見られ、亀裂節の欠落、下地の見えている部分等が確認された。  
**Q** 大きな額の計上である。当初予算で対応できないのか  
**A** 事業所は25年度の事業として考えていたようであるが、県と協議した中で安心子ども基金の補助事業が24年度限りで無くなる見込

みであり、本年度だったら活用できるといふことで、その旨事業所に伝え、24年度事業として取り組むこととなった。

**Q** 費用の内訳は

**A** 14,070千円の事業費で、県1/2の7,035千円、町1/4の3,517千円、事業主1/4の3,518千円です。

**Q** ジオパーク運営の内容は

**A** 外国語にも対応したパンフレットの作成、遊歩道整備2か所の工事費、これに伴う境界確定業務などです。

**Q** ジオサイトの遊歩道計画、世界ジオパーク認定や再審査を含めたジオパーク振興に係る中長期計画を策定し、事業を推進してほしい。補助金を有効活用し、出来る限り一般財源の負担を少なくする方向で進めてもらいたい。

**A** （町長）県庁内に担当窓口が設置されたところであり、ジオパークの補助金がないのが現状。下仁田町だけでは群馬県の対応も難しいと思われるので、今後、議会のお力添えをいただき南牧村や上野村にも構想に加わってもらい、広域的な対応の方向で進んでいきたい。

### 23年度決算認定関係

**Q** ふるさと下仁田応援基金について、積立目標金額と基金の充当方法に定めがあるか

**A** ふるさと下仁田応援寄附金の申込み時に、6事業の中から用途を選択していただき、基金積立の段階で事業ごとに集計しています。基金積立の設定はありません。

**Q** 基金充当にあたっては、一定程度の積立額となった段階で、目的に合った事業に対して充当していく予定ですが、充当の時期については改めて検討したい。

**Q** 出合い交流事業の40万円の補助金額は少ないのでは、多くして良い事業でないか

**A** 事業の決算は、収入920,360円、支出757,588円、繰越162,772円です。昨年は5回計画4回実行でき、延128名が参加してくれました。今の課題が町内の方々の参加が非常に少ないことです。県のあいプロと連携しているので県内各地または県外の方の申込が多くなっています。是非下仁田町の男性に頑張つて参加していただき、素敵な女性と出合い、下仁田町に住んでいただきたいと考えています。

**Q** 町の出生数も減少し、周りの気運も大切だと思いがもつと盛り上げて少子高齢化対策の町の目玉

としていけないものか。このままでは町は衰退、滅亡してしまう。介護の問題にも影響してしまう。町の目玉として取り組める事業として特典や優遇等考えているか

**A** （町長）いろいろの面から協議していきたい。

**Q** 努力してほしい

**A** 実行委員会の担当に伝え、協力して盛り上げていきたい。ちなみに24年度は国からの交付金は廃止され一般財源化されました。補助金は30万円に減額しておりあります。

**Q** 放射性物質測定器を購入しているが内訳は。また、町民への機器の貸出を行っているが、実績はどうなっているか。なお、他課で所有している機器の管理を一元化できないか

**A** 1,076,880円の内訳は、放射性物質測定器であるサーベイメータ1台、簡易測定器Rad i 5台とデジタルカメラ1台の購入費です。

機器の貸出では、当初には若い主婦層を中心に要望があり人気がありました。最近ではほとんど貸出が無い状況です。

機器の一元化については、現状では難しいかと思われます。  
**Q** 猿巡視委託料の内容は  
**A** 年間18万円×2名に調査を委託している。メス猿に発信機を付

けて、群れの生態や行動等を調べています。

**Q** 被害防止の成果はあったのか  
**A** 現時点では被害防止に直結した成果はないが、調査結果を参考に今後の被害防止、捕獲等に役立つよう取り入れていきたいと思っております。

**Q** 県民参加型鳥獣害防止施設設置補助金の内容は

**A** 東野牧の小河原地区でシカ用のフェンスをL11750m設置しました。事業費約230万円に対し県50%、町30%の補助をしました。

**Q** シカ用の柵は他にもあるのか  
**A** 他にはないと思います。



川井ジオパーク遊歩道

# 広域圏NEWS

## 甘楽西部環境衛生施設組合議会

8月17日定例会を開催

平成24年度補正予算

全会一致で可決

平成23年度決算と専決処分

全会一致で認定

平成23年度決算は、歳入については、資源物売払い収入が前年と比較して5トン増えながら収入においては前年比98・3%と減額となったのは金属価格の値下がりによるものであります。引き続き分別収集にご協力をお願いします。

歳出では、ごみ処理施設設備の劣化、性能低下に対応するため、長寿命化計画を策定し、炉の改修工事が現在進行中であります。また、し尿処理場においても、精密機能検査を実施し施設の老朽化等を調査しました。

## 下仁田南牧医療事務組合議会

定例議会が去る7月27日午前10時から開催され、議案4件が提案されました。その結果については、次のとおりです。



病室仮設モデルルーム見学

## 広域議会

広域臨時議会は、去る8月7日午前10時から富岡市役所で開催され、議案3件が提案されました。その結果について次のとおり報告します。

### 平成24年7月 下仁田南牧医療事務組合議会定例会

議案名等	審議結果
平成23年度決算に基づく病院事業会計資金不足比率について（報告）	（資金不足なし）
専決処分の承認を求めることについて（下仁田南牧医療事務組合病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例）	全会一致で可決
下仁田南牧医療事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で可決
平成23年度下仁田南牧医療事務組合病院事業会計欠損金の利益剰余金による処理及び決算認定について	全会一致で認定

### 平成24年8月 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会臨時会

議案名等	審議結果
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致で可決
財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車）	全会一致で可決
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合教育委員会委員の任命について	全会一致で同意

# 視察報告

## 社会経済常任委員会

### 社会経済常任委員会行政視察報告書



水耕栽培ハウス

〈持家住宅建設等補助金の補助対象としては〉

1. 申請時に住宅取得又は建設に着手していない方
2. 住宅の取得、建設及び増築に300万円以上費用がかかる方
3. 平成25年度2月までに住宅取得又は建築工事完了届を提出出来る方
4. 現在市税等滞納の無い方

〈補助内容は〉

社会経済常任委員会では、7月12日から13日の2日間「定住促進事業」と「施設園芸事業」の行政視察を行いました。

1日目 山形県上山市  
(人口…33,300人、面積…241km<sup>2</sup>)

山形県上山市は、山形市に隣接していて、人口流出に歯止めがかからず、毎年300人の人口減少が続いている。人口減少に歯止めをかけるために次の施策を実施しているとのことでした。

1. 市外から住宅の購入又は新築を行う場合は費用の5% (限度額40万円)
  2. 市内の住民の場合は費用の5% (限度額20万円)
  3. 市に住所を有する方が住宅の増築を行う場合は一律10万円
  4. 市内建設業者に施工工事する場合は上記補助金に一律20万円加算
- その他にも部分補強・省エネ対策・バリアフリー・県産材木材利用には10% (限度額20万円) などの加算処置もある。
- また、一般的なりフォーム工事

にも5% (限度額10万円) や耐震改修工事には25% (限度額60万円) の補助があるとのこと。

2日目の7月13日は、宮城県名取市の東日本大震災で被災した農家の復興に向けての取組み例を視察しました。

名取市は、東日本大震災で致命的被災に見舞われたが、新たな施設園芸事業「なとりフードフアック

トリパーカー」に取組んでいる。家も田畑も流されてしまった被災農家3人が発起人となり、塩害の田んぼの葉野菜を生産する一棟600坪のハウス3棟(約3億5000万円うち国の補助金8割)を建設し水耕栽培で通年栽培し、出荷する。使われる水は全てハウスの屋根の降った雨水を地下タンクに貯めて使用する。肥料は窒素、

## 議会運営委員会

### 議会運営委員会行政視察報告

8月27日、28日の2日間、福島県会津坂下町の行政視察を行いました。今回の視察の目的は、委員会及び議会の傍聴について、今後の参考とするために行なったもので、その概要についてご報告いたします。

会津坂下町は人口16,982人、世帯は8,112世帯、面積91.65km<sup>2</sup>、議員数は16名です。

議会の傍聴については、婦人会や老人クラブ等の団体で申し込まれることが多く、多い時は、60人、平均すると20人位である。インターネット配信を導入し、ライブ中継の場所として、役場の窓口と公民館7館に配信している。職員もパソコンで視聴可能である。な

お、委員会傍聴は、ほとんどないとのこと。

議会町政報告会は、地元議員が中心となり旧7地区(81集落)の公民館で開催し、意見交換と町民懇談会、最初は要望のみであったが、議員の立場で要望や意見等を吸い上げ、住民と一つのことを真剣に考えるようになった。

5年前から議会基本条例について自由に討議した結果、先進地の北海道栗山町へ視察に行き、平成23年10月1日に議会基本条例を公布・施行しました。

一般質問通告書の締切は、一週間前の正午まで、質問回数制限はなく質問答弁合せて50分以内、議会運営委員会は、議会開会1週

リン酸、カリを適時与える。野菜はレタス、サンチュ、ホウレン草、トマト等葉物野菜を中心に栽培し、年間で250t程度の販売量を予定しています。水耕栽培は、農薬を殆ど使用せずに野菜を生産できるため、非常に安全であるとのこと。一日も早い復興が軌道に乗る事を祈りつつ現地に後になりました。

間前に開催、一般質問と同じ質問はないか確認し、重複した場合は、関連質問変更の指導をする。委員会付託は、陳情、請願と予算決算のみとのこと。

以上で会津坂下町議会の議会運営委員会行政視察報告といたします。



会津坂下町役場にて

# 町の話題



平成21年度にスタートした下仁田高校「下仁田ふれあいアカデミー」の活動は、本年度で4年目を迎え、地域の方々にも幅広く知られるようになりました。下仁田町役場、下仁田町商工会、下仁田町食生活改善推進協議会、地元農家の方々、下仁田高校同窓会「高嶺会」、その他多くの方々の協力があり、この事業は進められています。

「下仁田ふれあいアカデミー」は「匠プラン」、「習プラン」、「歩プラン」という3つの視点で活動をしています。「匠プランは」地域の方を講師として迎えお話を聞いたり、地域の企業に職場体験（インターンシップ）としてお邪魔させていただいたり、地域の方から勉強させていただく活動です。

「習プラン」はトレニングルーム、図書館の一般開放、体育館等の施設を利用してもらうといった、学校から地域の方々へのアプローチです。昨年は学校の公仕を務める職員が東日本大震災の被災地ボランティアに行った経験から、講演会を開きました。

「歩プラン」は、地域の方とともに行っていく活動で、地域への貢献活動を模索しています。活動内容としては、通学路を中心とした清掃活動や、商工会青年部のイ

ベントの手伝い、ねぎ畑でのボランティアなどがあります。特に平成21年度から23年度まで高崎経済大学との高大連携事業を実施し、その中で多くの活動が生まれました。この研究活動では、下仁田の商業、農業、自然、観光に着目し、商工会青年部フェスティバルで出し物を考えたり、農家を訪問し、下仁田の農産物のPRビデオを作ったり、下仁田ジオパーク推進室で取材をし、「簡単ガイド」を作成したり、下仁田の飲食店や直売所を紹介した「下仁田ふれあいマップ」を作成するなどといった活動が3年間で行われました。

こうした地元との連携活動は、生徒の視野を広げる機会となるばかりでなく、地域の振興にも貢献するものと評価されており、活動は継続されるということです。今後の活躍と発展を期待したいと思います。

## 地域のたから

下仁田高校三年生の恩田貴浩君は、アカデミー活動の一環もあり、3年間下仁田こんにやく夏祭りの会場・各種諸行事に於いても自ら進んで、ゴミ拾いをしていただきました。大変に感謝しているとともに、今後も地域活動にご協力願うことを期待いたします。

## 編集室から

敬老大会が各地区で開催され、社会福祉協議会を中心に各種団体の役員各位の活躍、力添えにより、賑やかに催されました。この世に生を受け人生の苦楽を歩まれて、長寿を授かることは、今の私達には、大変羨ましく思います。人生をいかに楽しく生きるか。自分に合った趣味を持たれて活動されている方々は、大変に若々しいですね。趣味を持てばこれまでとは違った明日が見える。生きがいを見つけて楽しい人生にしましょう。

### 広報発行特別委員会

- 委員長 矢嶋榮一
- 副委員長 木暮弘元
- 委員 原 秀男
- 委員 高瀬政信
- 委員 佐藤 博
- 委員 岡田武二

議会だより・会議録を  
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

問い合わせ先  
電話82-2111（内線610番）